

「建交労とうきょう」はいつでもみなさまからの記事や写真を待っています。

(メール) tohonbukenkouro@smile.odn.ne.jp
ホームページ
http://www.kenkouro.com/

建交労 CTG とうきょう

建交労東京都本部機関紙

発行所
全日本建設交通一般労働組合東京都本部
〒135-0048
江東区門前仲町1-20-3
東京建設自労会館7階
電話 03 (3820)8644 (代)
fax 03 (3820)8646
編集発行人 松田 隆浩
1部15円組合費に含まれる (〒60円)

第20回 東京都本部定期大会

9月10日(日) 1年間の大会方針を決定する、第20回建交労東京都本部定期大会が開催され、全体で82名が参加しました。

青山副委員長より、開会挨拶、議長等の諸役員推薦の後、松田執行委員長より主催者あいさつを受けました。続いて、東京地評松森陽一事務局長、首都圏交通共闘会



建交労東京都本部 団結して頑張ろう！！

定期大会



京王新労組支部 佐々木執行委員長 古河井執行委員

議川崎一則事務局長、建設首都圏共闘上岡正央事務局長、日本共産党都議会議員団和泉なおみ都議、中央本部廣瀬肇書記長より、それぞれ来賓あいさつを頂きました。議案提案では、1年間の活動経過報告と、2017年度の運動方針案の提案を行いました。今年の運動方針は大きく二つの目玉があります。一つ

は「組織機能と強化と確立」で、民主的・集团的指導体制を確立するため、普段より任務分担を行い、多くの執行部・組合員が経験を積み、学習を行い、層の厚い民主的な組織をめざし、要求実現を継続的に勝ち取れる組織を確立すること。そして、委員長、書記長、執行委員など後継者がおらず、引継ぎが進んでいない組織への補助のため、都本部執行部組織建設推進委員会を中心に「組織継承委員会」を発足し、組織の状況の把握、対話、援助などを強め、今後の運営について検討していくこと。2つ目は、「長時間過密労働

は「組織機能と強化と確立」で、民主的・集团的指導体制を確立するため、普段より任務分担を行い、多くの執行部・組合員が経験を積み、学習を行い、層の厚い民主的な組織をめざし、要求実現を継続的に勝ち取れる組織を確立すること。そして、委員長、書記長、執行委員など後継者がおらず、引継ぎが進んでいない組織への補助のため、都本部執行部組織建設推進委員会を中心に「組織継承委員会」を発足し、組織の状況の把握、対話、援助などを強め、今後の運営について検討していくこと。2つ目は、「長時間過密労働

働は正・賃下げなしの時間短縮・人間らしい働き方」を実現するための運動を安倍働き方改革阻止の運動と共に強化することです。人間らしい働き方を実現することは、労働運動再生の大きな鍵になります。また、近く解散総選挙が見込まれており、野党共闘や総がかり行動と共に「改憲阻止」に向けた闘いを大きく発展させること、各業種部会や産業別統一闘争における制度政策闘争を前進させるため、選挙闘争を旺盛にとりくむこと。安倍9条改憲NO! 3000人署名運動に大いに取り組むこと、春闘アンケートの位置づけ強化などを強調しました。午後からの質疑討論では14名の仲間から活発な発言があり、争議団紹介では、京王新労組支部から決意表明がありました。役員体制は、本大会で大登孝雄副委員長、青山永副委員長、秋元孝俊常任執行委員、伊藤武夫執行委員、吉田浩執行委員が退任され、新たに関東支部より浅井健一さん、神田支部より石塚和さんがそれぞれ副委員長に、東部支部より林上博之さんが常任執行委員に、中西部支部より藤田誠さんが執行委員に新任されました。新たな運動方針のもと、要求実現のため、団結して頑張っていきたいと思います！

◆ 退任された役員の皆さん ◆



青山元副委員長



大登元副委員長



秋元元常任執行委員



伊藤元執行委員



吉田元執行委員

生活と権利、平和と民主主義を取り戻そう～解散総選挙～

組合員の皆さん。
報道によると、安倍首相は衆議院を解散する意向を固めたと言います。

日報隠べい疑惑や森友・加計疑惑などの解明のための臨時国会招集を、憲法の規定により求められているのに、所信表明演説も代表質問もすっぱして解散するなど、国会軽視、自己保身の暴挙だと言わざるを得ません。

日報隠べい疑惑では、南スーダンPKOが実は戦闘地域に展開していたのではないか、今後の自衛隊の海外での活動の在り方が大問題となっています。

森友・加計疑惑では、「お友だちのために、国有地が9割引きになったり、獣医学部新設が特別に認められたのではないか、「総理の意向」により国政が歪められたのではないか、これも大問題です。

目に余る政治の私物化、国民

を愚弄する態度、9条改憲の暴走など、安倍政権のあまりの傲慢ぶりに国民の批判が集まり、東京都議会選挙では議席の半分以上を自民党は失いました。

臨時国会冒頭解散は、安倍首相なりのよこしまな狙いがあってのことですが、国民の批判や野党と市民の共闘の前進に追い込まれた末の悪あがきです。

組合員の皆さん。

安倍政治NOの声を正面からあげて、三分の二どころか過半数割れに追い込み、安倍政権を打ち倒すチャンスです。職場で地域で政治を語り、生活と権利、平和と民主主義を取り戻すために投票に行きましょう。

建交労東京都本部執行委員長

松田 隆浩

2017原水禁世界大会in長崎

今回の大会は1955年第1回大会開催から数えて62年目になります。これは、広島、長崎に原爆が投下され72年が経過し、戦後10年に世界の反核平和運動を推進するための、草の根運動の成果です。

また今年は7月7日に国連にて「核兵器禁止条約」が122国の賛同を経て締結された初めての大会でした。

残念ながら、唯一の戦争被爆国である日本は核兵器禁止条約に交渉時点から不参加であり、私自身考えられない状況です。

世界大会開会総会では、核兵器禁止条約締結に奔走した中満泉(国連事務次長・軍縮問題担当上級代表)の話がございました。内容はとても難しく聞いていただけではついていけない内容でしたが、条約の意義(被爆者の努力と苦難に言及され、核兵器使用や存在による人道上の影響や核兵器禁止の厳格に規定していること、生物兵器などの

非人道上兵器と同じように禁止を取り組まないと(ならない)を始め、核抑止力は投下されるまですら効力はなく、一旦投下された瞬間に抑止力は効力を失うことが強調されていました。

では必要であると思いましたが。
【神田支部 書記長 石塚和一】

私は今回の参加を踏まえて、改めて「核兵器は絶対悪」であり、核兵器のない世界に向けて他国間条約による核軍縮が必要であります。



参加された神田支部吉田亮太さん(写真左)と石塚和さん(写真右)

組合掲示板

- 9月30日(土) 13時半～東京女性部主催『憲法カフェ』/都本部7F会議室(門前仲町)
- 10月 2日(月) 11時～京王新労組雇用延長地位確認裁判/東京地裁527号法廷
- 10月 5日(木) ～司法総行動
- 11月 8日(水) ～建交労秋の中央行動
- 12月 2日(土)～3日(日)～18中央春闘討論集会
- 12月10日(日) 10時～都本部18春闘討論集会/トラック健保会館(市ヶ谷) 2018年
- 1月13日(土) 14時～都本部新春旗開き/トラック健保会館(市ヶ谷)
- 1月27日(土)～28日(日)～第19回中央委員会

